

熊田さんの所有牛 第1席を獲得

薩摩郡春季畜産共進会が5月16日、薩摩中央家畜市場で開催されました。

大会には、90頭（本町から14頭）が出品され、それぞれの栄養状態や発育具合を念に審査。その結果、若雌一部で熊田照男さんの所有牛が最優秀賞1席を獲得するなど本町選抜の出品牛は優秀な成績をおさめました。

●若雌一部 ●（敬称略）

最優秀賞

1席 熊田 照男（熊田）
7席 有村 淳美（弓之尾）

優秀賞 白石 道德（弓之尾）
羽有 俊三（境田）
今別府 保雄（広橋）
平 通幸（築平）

●若雌二部 ●
最優秀賞

6席 山下 健大（尾原）
米増 正男（尾原）
下築 晶利（築平）
柳田 美歳（尾原）

優秀賞 ●若雌三部 ●
最優秀賞

3席 木下 則行（黒島）

●父系群の部 ●
最優秀賞

4席 馬場 達男（町）



熊田さんの所有牛「しげみ号」

農業について学ぼう

5月8日、薩摩中で町内の農業に対する認識を深めようと農業講座が開かれました。薩摩中では、総合学習の時間に第一次産業について学んでおり、本町の農業の特色や農業の問題点などについて更に追求しているとしています。

当日は、赤崎敬一郎経済課長が講師になり一年生を対象に講義しました。生徒の家庭では約70%が現在農業をしています、自分でも農業をやりたいと考えている生徒は少数で、後継者問題をはじめとしている様々な問題があるようです。

赤崎経済課長は「本町では農地はたくさんあるが、農業をやろうと思っている人は少ない。田・畑を荒らすことは環境にとっても悪影響です。」と話し、町の農業の実情を説明しました。また生徒からは「今、自分の家に田・畑が無くても将来農業ができますか？」などの質問もあり、農業に対する理解がより深まったようでした。



▲農業について生徒を前に説明する赤崎経済課長

上手に茶摘みが できるかな！

5月9日、求名小の3・4年生が茶摘みに挑戦しました。

はじめに指導に訪れた高齢者の方に、摘み方の実演をおこなってもらいました。その後児童は、みんなで校庭の周辺に植えてあるお茶の木に付き、若芽を選んで一生懸命摘みました。

途中ムカデが出るなどのハプニングもありましたが、今年例年より多く8キロの収



穫がありました。また児童は「楽しいけど難しい。」と感想を話していました。

ました。先生が来るということとでドキドキしていました。先生は、お母さんといろいろなことを話していました。ぼくは、つくえの上がクレヨンでちらかっていたので、かたづけようと思っていました。でもそのことを忘れていてべん強をしていました。ぼくはとちゅうで気がついて「あ、しまった」と思いました。でも先生はぼくのつくえを見ていきませんでした。ぼくは、「あぶなかつたな。」と思いました。

〔詩〕

木の洋服

永野小五年 平 真帆さん
木は、四季ごとにきれいな洋服を着る

春は、きれいな花の洋服
夏は、緑の葉っぱの洋服
秋は、赤や黄色のきれいな服を身にまとい

冬は、かれて、白い雪の服を着る

木は、四季ごとにきれいな服を着る それは、木だけしか着れない洋服

お店にも、どこにも売っていない 木だけの洋服